

# H3C iMC NTA 7.3 (E0506P02) リリースノート

本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co.,Ltd.の事前の書面による同意なしには、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。  
本ドキュメントの情報は、予告なく変更されることがあります。



## 内容

バージョン情報.....	2
バージョン番号.....	2
バージョン履歴.....	2
バージョンの互換性マトリックス.....	2
制限事項および注意事項.....	2
バージョンの更新.....	7
iMC NTA 7.3 (E0506P02).....	7
ソフトウェア機能のアップデート.....	7
新しいデバイスのサポート.....	7
新しいカードまたはモジュールのサポート.....	7
iMC NTA 7.3 (E0506P01).....	8
ソフトウェア機能のアップデート.....	8
新しいデバイスのサポート.....	8
新しいカードまたはモジュールのサポート.....	8
未解決の問題と回避策.....	9
解決された問題のリスト.....	13
iMC NTA 7.3 (E0506P02)で解決された問題.....	13
iMC NTA 7.3 (E0506P01)で解決された問題.....	13
ソフトウェアのアップグレード.....	14
制限事項およびガイドライン.....	14
前提条件.....	14
iMCのバックアップ.....	14
iMCのパッチ適用.....	15
アップグレード障害後のiMCの復元.....	17
情報問い合わせ先情報.....	18

# バージョン情報

## バージョン番号

このリリースノートは、iMC NTA 7.3 (E0506P02)バージョン用です。

## バージョン履歴

表1 バージョン履歴

バージョン番号	リリース日	備考
iMC NTA 7.3 (E0506P02)	2019-04-30	なし。
iMC NTA 7.3 (E0506P01)	2018-12-27	なし。

## バージョンの互換性マトリックス

バージョン互換性マトリックスでは、アップグレード可能なバージョンとは、このパッチバージョンにアップグレードできるバージョンまたは互換性のあるバージョンです。

表2 バージョンの互換性マトリックス

項目	仕様
アップグレード可能なバージョン	iMC NTA 7.3 (E0506) iMC NTA7.3 (E0506P01)
互換プラットフォームのバージョン	iMC PLAT 7.3 (E0702)
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 KB2836988 (64ビット) Windows Server 2012 R2 (64ビット) Windows Server 2016 (64ビット) Red Hat Enterprise Linux Server 7.3 (64ビット) Red Hat Enterprise Linux Server 7.4 (64ビット)
ブラウザ	IE10またはIE11 Firefox 50以上 Chrome 44以上

## 制限事項および注意事項

### データベーススペース

- iMCインストールディレクトリとNTAデータベースディレクトリが1つの論理ディスクにない場合、インストールディレクトリはデータベーススペース管理によって監視されません。

### オペレーティングシステム

- NTAサーバーの時間を広範囲に変更することはできません。新しい時間が現在の時間より前の場

合は、データが正しくない可能性があります。そうでない場合は、データの遅延が発生する可能性があります。

- Linux 5.xのインストールプローブ中に、インストーラはgccを呼び出してコンパイルします。gccパッケージがインストールされていない場合、インストールは失敗します。インストールについてはインストールガイドを参照してください。
- インストール後にログファイル監査ツールを正しく実行するには、32ビットJREがローカルシステムにインストールされていることを確認します。
- プローブが存在するデバイスがNTAサーバーと同じシステム時間およびタイムゾーンを使用していることを確認し、プローブデバイスのシステム時間を変更しないようにします。プローブデバイスのシステム時間を変更すると、(FTPを介して)NTAサーバーにすでにアップロードされているファイルが新しいファイルによって上書きされる可能性があります。その結果、プローブによってレポートされたデータに基づくトラフィック分析は不正確になります。
- プローブは、Linux 6.1またはLinux 6.4オペレーティングシステムにのみインストールできます。
- プローブを停止するには、stopProbe.shスクリプトを使用します。

## インストールと導入

- すべての配布NTA/UBAサーバーの共有データベースIPアドレスは同じである必要があります(特にIPアドレスが多いサーバーの場合)。共有データベースIPアドレスを持つ配布NTA/UBAサーバーは、配布されたオーダーに対してオーダーとともにアンインストールする必要があります。2つのNTA/UBAサーバーデプロイメント間でiMCサーバーを起動してください。
- プローブは、物理サーバーへのインストールのみをサポートします。
- DBmanを使用してNTAデータベースのバックアップコピーがリストアされた後、NTA機能が使用不可になる場合があります。

この問題を解決するには、以下のタスクを実行してください。

- unba\_master.tbl\_unba\_parameterテーブルのDB\_SHARE\_STATUSパラメータの値に正しいiMCサーバーおよびデータベースサーバーのアドレスが表示されることを確認します。たとえば、パラメータ値がIPアドレス1=IPアドレス2の場合は、IPアドレス1がiMCサーバーのIPアドレスであり、IPアドレス2がデータベースサーバーのIPアドレスであることを確認します。既存の値が正しくない場合は、パラメータ値を変更します。
- iMCを再起動します。
- unba\_master.tbl\_unba\_parameterテーブルのDB\_SHARE\_STATUSパラメータの値が正しいことを確認してから、Server ManagementページでNTAサーバーの構成配布をトリガーします。
- 分散iMC配置では、下位iMCサーバー上のiMC NTA 7.2 (E0401P04)より前のバージョンのNTAをアップグレードしても、NTAデータベースは自動的にアップグレードされません。その結果、下位iMCサーバーに構成されたトラフィック分析タスクでトラフィック統計の収集に失敗する場合があります。
- 共有データベースサーバーを使用する分散iMC配置では、NTAモジュールの基本バージョン(iMC NTA 7.3 E0504以前)をマスターiMCサーバーに配置してから、下位サーバーに配置します。最初にiMC NTA 7.3 (E0504H01)以前を下位サーバーに配置し、サーバー上のNTAモジュールをアップグレードしようとする、アップグレードは操作が実行された最初のサーバーでのみ成功します。
- 各NTAサーバーで使用できるデータベースは1つだけです。
- 次の配置で下位iMCサーバー上のNTAサーバーが正しく動作するようにするには、プライマリiMCサーバー上でiMCサービスが停止していることを確認します。
  - iMCシステムは分散モードで展開され、共有データベースを使用します。
  - iMC NTA 7.3 (E0505)以前がシステムに配置され、Network Behavior Analyzer Serverが下位サーバーに配置されます。

## GUI操作

- 関連するデバイスTOPOを通して示されるNTAインターフェースタスクの流束しきい値は構成でき

ません。

- デバイスに設定されたsFlow設定は、次のようにデバイスに展開されます。
  - デバイスをNTAに追加する場合は、デバイスをNTAサーバーに関連付けた後にsFlow設定が配布され、NTAサーバーの構成配布がトリガーされます。
  - すでにNTAサーバーに関連付けられているデバイスの設定を変更する場合、sFlow設定は変更が完了した直後に配布されます。
- 共有データベースサーバーを使用する分散iMC配布では、最初に配布されたNTAサーバーのみが、Server Managementページのサーバーリストに表示されます。NTAサーバーの設定を編集できます。設定は、システム内の他のNTAサーバーに自動的に適用されます。最初に配布されたNTAサーバーの詳細情報ページで、すべての配布済サーバーに関する情報を表示できます。
- 左側のナビゲーションツリーの構造に間接的に影響するアクションを実行した後は、変更がツリーに反映されるようにページを手動でリフレッシュする必要があります。
- トポロジページには、リンクラベル付きのアクティブリンクが表示されます。ただし、リンクラベルが正しくない場合があり、アクティブリンク上にカーソルを置いてもリンクトラフィック統計は表示されません。

## データベース

- ユーザーunba\_slaveとunba\_dataのパスワードを変更する場合、両者は同じである必要があります。

## トラフィックの分析および監査

- VLAN間ルーティングを設定し、インターフェースをトランクインターフェイスまたはハイブリッドインターフェイスとして設定します。デバイスがVLANマッピングを実行すると、チップの制限により、sFlowパケットに発信VLANタグが着信VLANタグとして挿入されます。したがって、発信VLANタグは、インターフェイストラフィック分析タスクで着信VLANタグとしてカウントされます。
- インターフェイスが複数のインターフェイストラフィック分析タスクに属していて、リアルタイムトラフィック統計情報収集でイネーブルになっている場合は、最初のインターフェイストラフィック分析タスクだけが照合されます。したがって、Interface Trafficサマリーページのインターフェイストラフィック分析タスクのリアルタイムトラフィック統計情報にはエラーがあります。
- NTAは、ネットワーク内の実際のアプリケーショントラフィック統計を収集します。NTAによって表示されるアプリケーショントラフィック統計は、アプリケーションの実際のトラフィック統計です。実際のネットワーク内のデータトラフィック詳細はサイズが大きいため、NTAはすべてのトラフィックデータを保存するのではなく、TopNトラフィックデータを保存します。アプリケーショントラフィック詳細を表示するときに、アプリケーションのトラフィックが小さい場合、この問題が発生します。
- トラフィックが多数のIPアドレスに均等に分散されている場合、送信元、宛先、またはセッションによってクエリーされるトラフィックの合計は、実際のトラフィックとは異なる場合があります。
- IPv6ログを処理する場合、iMCサーバーはIPv6プロトコルをインストールする必要があります。sFlow V5およびNetStream V9ログのIPv6形式のみがサポートされ、NAT、フロー、VPNテンプレートおよびプローブログはサポートされません。
- トラフィックの送信元ポートと宛先ポートがそれぞれ2つのアプリケーションに一致する場合、トラフィックは宛先ポートと一致するアプリケーションに割り当てられます。
- 最新ntaは最新のデータをメモリーから取得します。メモリー内のデータは5分ごとにリフレッシュされます。デバイスのIPアドレスが変更された後は、メモリーデータがリフレッシュされるまで最新のデータを取得できません。
  - バージョンの更新後、構成ファイルclient\conf\ntamAppContext.xmlを開き、ntamNtaTaskSummaryFluxMemoryDataMgr構成アイテムのfromMemory属性をfalseに変更します。この操作により、NTAはデータベースからデータを取得できます。
  - ユーザーがデータ収集の5分間の遅延を許可する場合は、前の操作を無視します。
- デバイスのIPアドレスを変更した後、\unbam\bin\updateDevIpNtaData.bat(Windowsの場合)またはupdateDevIpNtaData.sh(Linuxの場合)を実行して、履歴データを更新します。ユ

ーザーが履歴データに関係しない場合は、この操作を無視してください。

- 事前定義済のWeb訪問監査ルールが用意されています。このルールは、プローブ構成ファイルを介してプローブデバイスに自動的に配布されます。これらのルールにより、Web監査を必要とする次のようなWebアクセスパケットのタイプが識別されます。
  - URLのないHTTP要求。
  - jspまたはgif文字列を含むURLを持つHTTP要求。
  - タイトル情報のないHTTP応答。

ただし、NTAで構成されたプローブは一般的なトラフィックのみを監査でき、Webトラフィックは監査できない場合があります。

この問題を解決するには、以下のタスクを実行してください：

- プローブサーバー上で、プローブコンフィギュレーションファイルsysprobe.xmlを開きます。デフォルトでは、ファイルは/usr/local/unba/confディレクトリに格納されます。
- FiltWebDigestRules属性を検索し、属性値を編集します。FiltWebDigestRules属性値の編集方法の詳細は、関連ファイルを参照してください。
- トラフィック分析タスクレポートページのTrafficタブに表示されるトラフィック統計は、SourceタブまたはDestinationタブに表示される統計と一致しない場合があります。これは、Trafficタブでは1分単位のデータが表からフェッチされ、SourceタブまたはDestinationタブでは10分単位のデータが表からフェッチされるためです。Trafficタブにすでに表示されているトラフィック統計が、SourceタブまたはDestinationタブにまだ反映されていない可能性があります。
- 共有データベースサーバーを使用する分散iMC配置では、NTAはデバイスベースのトラフィック分析タスクだけをサポートし、プローブベースのトラフィック分析タスクはサポートしません。
- 左側のナビゲーションツリーでTraffic Analysis and Audit > Settingsをクリックすると、エラーが表示される場合があります。この問題が発生した場合は、ページを手動で更新してください。
- ベースラインしきい値機能は、VLAN/VXLANTraffic分析タスクまたはVPNTraffic分析タスクでは使用できません。
- レポートエクスポート機能は、VLAN/VXLANTraffic分析タスクまたはBGP ASTraffic分析タスクでは使用できません。
- Other Hosts要素は、次のタイプのトラフィックデータのいずれかを表します。
  - 上位N個の送信元オブジェクトではなく、送信元オブジェクト(ホスト、インターフェイスなど)によって受信または送信されるトラフィックデータ。
  - 上位N個のソースオブジェクトによって受信または送信されたトラフィックデータですが、レポート生成時にまだ正しいソースに割り当てられていません。
- トラフィック分析タスクの設定を変更した後は、NTAがタスクのトラフィック統計を収集する前に、新しい設定をデバイスに配布する必要があります。新しい設定をデバイスに配布するには、タスクが構成されているNTAサーバーの構成配布をトリガーします。

## レポート

- iMCLレポートには次の制限があります：
  - Device Application Summary ReportおよびDevice Interfaces Traffic Summary Reportを設定するページで、存在しないデバイスと統計情報の収集時間を入力すると、データベース接続エラーが表示されます。
  - VPN Flux Detail Analysisを有効にして、1つ以上のVPNタスクを追加し、レポートをエクスポートします。レポートの最後のページにデータがない可能性があります。
  - レポートチャートのY軸ラベルは、Firefoxでは縦スタイルではなく横スタイルで表示されます。
  - Word形式でレポートをエクスポートする場合、Y軸ラベルが完全には表示されないことがあります。
- iMCページチャートには、次の制限があります。
  - トレンドグラフでは、グラフコントロールにより、時間範囲に基づいてX軸に表示される時間が自動的に決定

されます。その結果、X軸の最後の文字が完全に表示されない場合があります。また、トレンドグラフに凡例に対応するカーブを表示しないように構成した場合、Y軸は現在の領域に表示できません。

- 円グラフに表示されるアイテムが多すぎると、異なるアイテムの値が重なったり、完全に表示されない場合があります。
  - 傾向グラフでポイントが多すぎる場合、または線が近すぎる場合は、ヒント情報がページに表示されないことがあります。
  - iMCプラットフォームでデバイスIPアドレスが変更された場合は、それに応じてNTAスケジュールレポート設定を変更して、正しいデバイスインターフェイストラフィック要約レポートおよび単一インターフェイストラフィック要約レポートを生成します。
  - インターフェイストラフィック分析タスクからエクスポートされたレポートには、タスクに多数のインターフェースが含まれている場合、重複してぼやけたインターフェース名が表示されることがあります。

## ブラウザ

- iMCによって推奨されていないブラウザを使用すると、NTAページでスクリプトエラーが発生する場合があります。推奨されているブラウザを使用してください。

## 特権

- NTA/UBA構成権限を持つオペレーターグループには、Traffic Analysis and Audit-SettingsのSettings権限が必要です。

## 設定

- 同じ名前(大文字と小文字は区別されません)を持つ最大10個のアプリケーションをNTAIに追加できません。

# バージョンの更新

## iMC NTA 7.3 (E0506P02)

### ソフトウェア機能のアップデート

#### 追加された機能

- トラフィック分析タスク管理は、タスクリーダーのバッチ修正をサポートします。
- ホストトラフィック分析タスクのホスト情報は、バッチインポートできます。

#### 削除された機能

なし。

#### 変更された機能

なし。

### 新しいデバイスのサポート

なし。

### 新しいカードまたはモジュールのサポート

なし。

# iMC NTA 7.3 (E0506P01)

## ソフトウェア機能のアップデート

### 追加された機能

- トラフィック分析タスク設定ページのしきい値アラーム設定領域の重大度パラメータが設定可能になりました。必要に応じて、しきい値違反に対して生成されるアラームの重大度レベルを設定できます。
- SNMPv3パラメータおよびテンプレート名パラメータが、デバイス管理モジュールのデバイス設定ページに追加されました。iMCは、指定されたテンプレートのパラメータを使用することにより、SNMPv3を介してデバイスと通信できるようになります。
- NTAデータソースデバイスのsFlowインタフェースリスト上の個々のインタフェースに対するsFlowサンプルレートの構成のサポートが追加されました。
- メンテナには、デバイス管理モジュールでデバイス設定を編集する権限が付与されました。
- トラフィック分析タスクのインタフェース選択ページのロード時間が短縮されました。

### 削除された機能

なし。

### 変更された機能

なし。

## 新しいデバイスのサポート

なし。

## 新しいカードまたはモジュールのサポート

なし。

# 未解決の問題と回避策

## 問題1 SSD45498

- 症状:タスク内のインターフェースが失われます。
- 状態:分散サーバーにNTAを展開します。
- 回避策:このタスクを再設定します。

## 問題2 SSD47429

- 症状:エクスポートされたNTAレポートに不完全な座標ラベルと不正確な座標単位が表示されます。
- 状態:FirefoxでVPNトラフィックレポートをエクスポートします。
- 回避策:IEブラウザを使用してください。

## 問題3 201405200044

- 症状:VPNトラフィック分析タスクでトラフィックレポートをエクスポートできません。
- 状態:NTAが分散モードで展開されている。
- 回避策:レポートをブラウザで表示します。

## 問題4 201502110311

- 症状:インターフェイストラフィックアプリケーションタスクレポートをアプリケーションまたはプロトコル別に分析すると、データベース接続エラーが発生します。
- 状態:インターフェイストラフィックアプリケーションレポートで、アプリケーションまたはプロトコルごとにタスクを問い合せて、レポートをエクスポートします。データベース接続が発生したことが表示されます。
- 回避策:インターフェイストラフィック分析レポートクエリーのクエリー基準として、アプリケーションまたはプロトコルを選択しないでください。

## 問題5 201503260311

- 症状:Sub Traffic Analysis Serverウィンドウに、下位レベルiMCのトラフィックが表示されません。
- 状態:Lower-Level NMS Viewでは、下位レベルiMCに対してHTTPSログインタイプが選択されます。
- 回避策:下位レベルiMCのHTTPログインタイプを選択します。

## 問題6 201503260277

- 症状:iMCホームページのThe Traffic Trend for Host NTA Task(Last1Hour)ウィジェットにデータがありません。
- 状態:ホストNTAタスク(過去1時間)のトラフィック傾向ウィジェットに対してホストNTAタスクが選択されている。
- 回避策:なし。

## 問題7 201503260214

- 症状:インターフェース分析タスクにデータがありません。
- 状態:インターフェース解析タスクに、名前または説明にアポストロフィ(')があるデバイスのインターフェースが含まれている。
- 回避策:デバイスの名前または説明にアポストロフィ(')を含めないでください。

#### 問題8 201503240355

- 症状:iMCビューアで、トラフィック分析ページにホストセッションモニタリング情報を表示できません。
- 状態:トラフィック分析ページで、iMCビューアがTask TypeリストからHost Sessionsを選択して、ホストセッションモニタリング情報を表示します。
- 回避策:ページをリフレッシュします。

#### 問題9 201610270449

- 症状:ユーザー動作監査タスクが追加されると、エラーが発生します。
- 状態:この症状は、iMCがLinuxおよびOracle環境に直接インストールされているときに、デフォルト以外の表領域が選択された場合に発生します。
- 回避策:iMCのインストール時にデフォルトのテーブルスペースを選択します。

#### 問題10 201611170033

- 症状:ユーザーがApplicationリンクをクリックすると、予期しないページが表示されます。  
Interface Traffic AnalysisページのApplication List。
- 状態:この症状は、ユーザーがInterface Traffic AnalysisページのApplication ListでApplicationリンクをクリックした場合に発生します。
- 回避策:Applicationリンクをクリックする前に、アプリケーションリストをソートします。

#### 問題11 201611170540

- 症状:送信元ホストタブと宛先ホストタブのトラフィックが失われます。
- 状態:この症状は、NTAがアップグレードされた後に発生します。
- 回避策:テクニカルサポートに連絡してください。データは失われません。データを新しい表に移動することにより、データをリカバリできます。

#### 問題12 201610270283

- 症状:ユーザーが特定のタイプの最初のトラフィック分析タスクを追加した後、対応するタスクノードが左側のナビゲーションツリーに表示されません。
- 状態:この症状は、ユーザーが特定のタイプの最初のトラフィック分析タスクを追加した後に発生します。
- 回避策:ブラウザを更新します。

#### 問題13 201612010279

- 症状:NTAコンポーネントのアップグレードが失敗しました。
- 状態:この症状は、ユーザーがMariaDB環境でNTAをiMC NTA 7.2 (E0401P01)からiMC NTA7.2(E0401P04)にアップグレードするときに発生します。
- 回避策:なし。

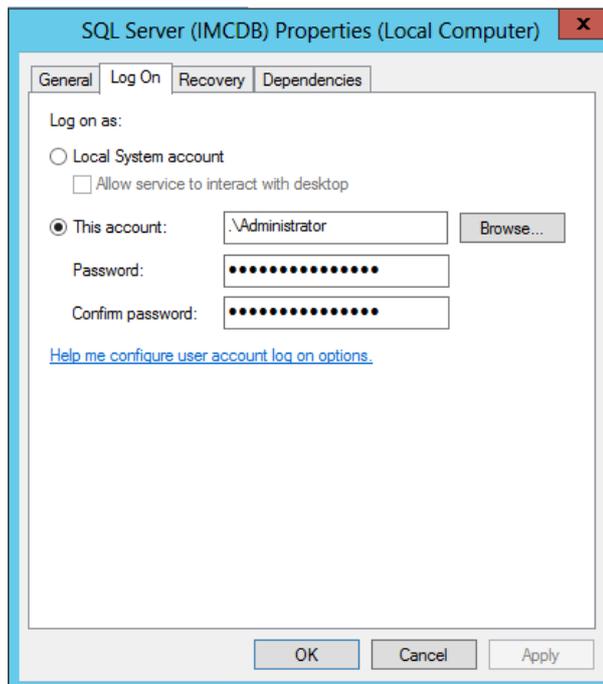
#### 問題14 201712250666

- 症状:NTAサーバーコンポーネントがサーバーに配備されていないと、Server ManagementページにNTAサーバーが表示されます。
- 状態:この症状は、バージョン iMC NTA7.3(E0505) の複数の Network Behavior Analyzer Serverコンポーネントが展開されているiMCシステムで、ユーザーが次の手順を実行した後に発生します。
  - Network Behavior Analyzer Serverコンポーネントの配置を解除します。
  - iMCを開始します。
  - Server Managementページを開きます。
- 回避策:なし。

#### 問題15 201803160250

- 症状:モジュールがSQL Serverデータベースにデータを挿入しようとしたときに、プロセッサモジュールに対してアクセス拒否プロセスログが記録されました。
- 状態:この症状は、Windowsホスト上のプロセッサモジュールがSQL Serverデータベースにデータを挿入しようとしたときに発生することがあります。
- 回避策:SQL ServerプロパティダイアログボックスのLog Onタブで、次の図に示すように、account.\Administratorを使用してSQL Serverデータベースサービスへのログオンを有効にします。

図1 SQL Serverのプロパティ



### 問題16 201706010548

- 症状:左側のナビゲーションツリーでページへのリンクをクリックすると、NTAからエラーが報告されます。
- 状態:この症状は、左側のナビゲーションツリーでリンクをクリックしてNTA構成ページを開こうとしたときに発生することがあります。
- 回避策:なし。

### 問題17 201812110237

- 症状:Parameter Managementページのトラフィックデータ持続時間パラメータは、iMC NTAがiMC NTA 7.3 (E0506)にアップグレードされた後にデフォルト値にリストアされます。
- 状態:この症状は、iMC NTAがiMC NTA 7.3 (E0506)にアップグレードされた後に発生します。
- 回避策:iMC NTAをiMC NTA 7.3 (E0506)にアップグレードした後、次のタスクを実行します。
  - a. `\\IMC\client\conf\ntamAppContext.xml`コンフィギュレーションファイルを開き、ファイル内のトラフィックデータライフタイムパラメータ設定を見つけます。
  - b. Parameter Managementページを開き、設定ファイルに従って、Traffic Data Settings領域でトラフィックデータライフタイムパラメータを再設定します。

### 問題18 201812110293

- 症状:指定した時間範囲にわたって収集されたトラフィックデータを表示する代わりにApplication、Source、DestinationおよびSessionの各タブには、過去数日間に収集されたトラフィックデータのみが表示されます。
- 状態:オペレータが次のタスクを実行した後に、症状が発生する場合があります。
  - a. iMC NTAをiMC NTA 7.3 (E0505P04)またはiMC NTA 7.3 (E0506)にアップグレードします。

アップグレード後、トラフィック分析タスクのApplication、Source、Destination、およびSessionタブで統計情報を生成するために使用されるトラフィックデータに、トラフィックデータライフタイム設定が適用されます。
  - b. トラフィック分析タスクのレポートページを開きます。
  - c. Application、Source、Destination、およびSessionタブをクリックして、関連するトラフィック統計情報を表示します。

トラフィックソースデータのトラフィックデータライフタイム設定が変更されるため、NATは、これらのタブで統計情報を生成するために必要な完全なトラフィックデータを取得できない場合があります。
- 回避策:タスクのApplication、Source、DestinationおよびSessionタブを開く前に、トラフィックデータの持続時間設定に従って十分なデータがデータベースに取得されるまで待機します。

# 解決された問題のリスト

## iMC NTA 7.3 (E0506P02)で解決された問題

- なし。

## iMC NTA 7.3 (E0506P01)で解決された問題

### 問題1 201811230639

- 症状: ホストトラフィック分析タスク構成ページのHost Information領域のHost IPフィールドに入力された各ホストIPアドレスに、先頭のスペースが自動的に追加されました。
- 状態:この症状は、オペレータが次のタスクを実行した後に発生します。
  - a. ホストトラフィック分析タスクの設定ページのHost Information領域で、Host IPフィールドにIPアドレスを入力します。
  - b. Addをクリックして、IPアドレスをHost IP Listに追加します。

### 問題2 201811190716

- 症状:インターフェイストラフィック分析レポートのホームページのTraffic Trend and TopN Application for Selected Task領域に、選択したタスクのトラフィックデータが表示されません。
- 状態:この症状は、オペレータが、Parameter ManagementページでMemory Analysis/パラメータをEnableに設定して、インターフェイストラフィック分析レポートのホームページを開いた場合に発生します。

# ソフトウェアのアップグレード

次の情報では、汎用パッチのインストール手順のみを説明します。iMCのインストール手順および詳細なアップグレード手順の詳細は、配置シナリオのiMCの配置を参照してください。

## 制限事項およびガイドライン

パッチのインストール中にエラーが発生した場合は、データを復元してから、アップグレード手順を繰り返してパッチをインストールします。問題が解決しない場合は、H3Cサポートに連絡してサポートを受けてください。

パッチのインストール後は、システムをロールバックできません。

## 前提条件

このバージョンにアップグレードするには、次のいずれかのバージョンが実行されていることを確認してください。

- IMC NTA 7.3 (E0506)
- IMC NTA 7.3 (E0506P01)

アップグレードを成功させるためのベストプラクティスとして、アップグレードソフトウェアパッケージをアップグレードするサーバーのローカルファイルシステムにダウンロードします。リモートファイルシステムからアップグレードする場合、接続の喪失などの問題によりアップグレードが失敗することがあります。

## iMCのバックアップ

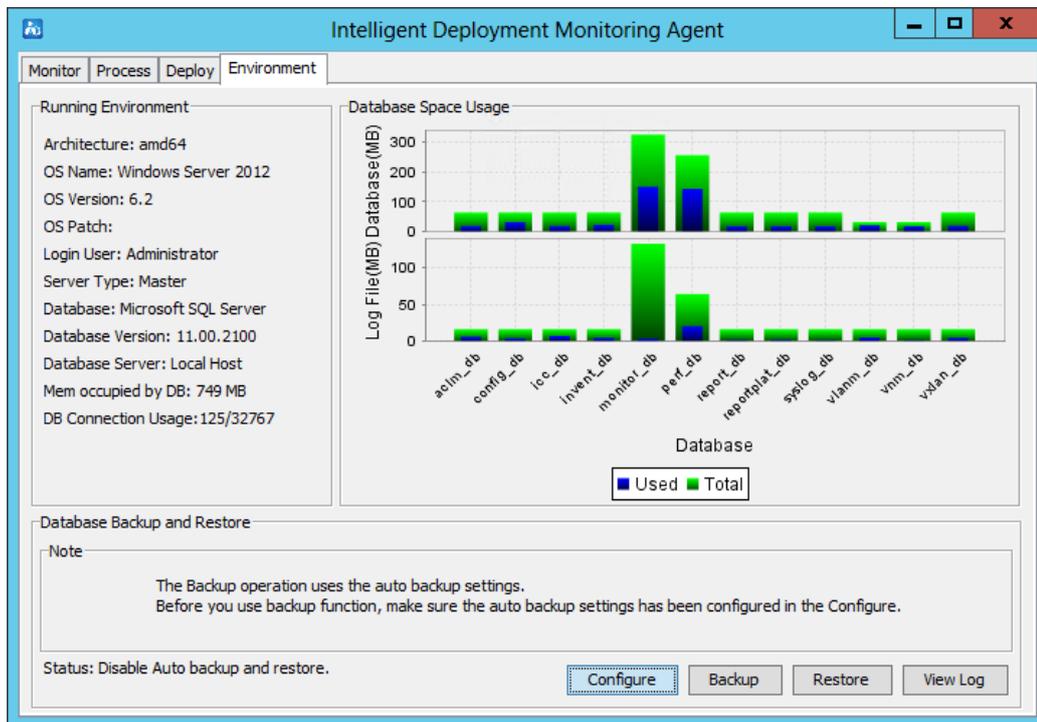
アップグレード前にiMCをバックアップして、ソフトウェアのアップグレードが失敗した場合の迅速なデータリカバリおよびソフトウェアダウングレードを可能にします。

1. EnvironmentタブのBackupをクリックして、デプロイメントモニタリングエージェントからサーバー上のデータベースをバックアップします。  
ボタンをクリックします。

分散配置環境では、マスターサーバー上でこの手順を実行します。

リモートデータベースを使用する配置でデータベースのバックアップに配置監視エージェントを使用するには、リモートデータベースサーバにエージェントをインストールする必要があります。

図2 デプロイメント監視エージェントからのiMCのバックアップ



2. iMCインストールディレクトリ全体をバックアップ用の新しいディレクトリにコピーします。分散配置環境では、マスターサーバーとそのすべての下位サーバーでこの手順を実行します。

**注:**

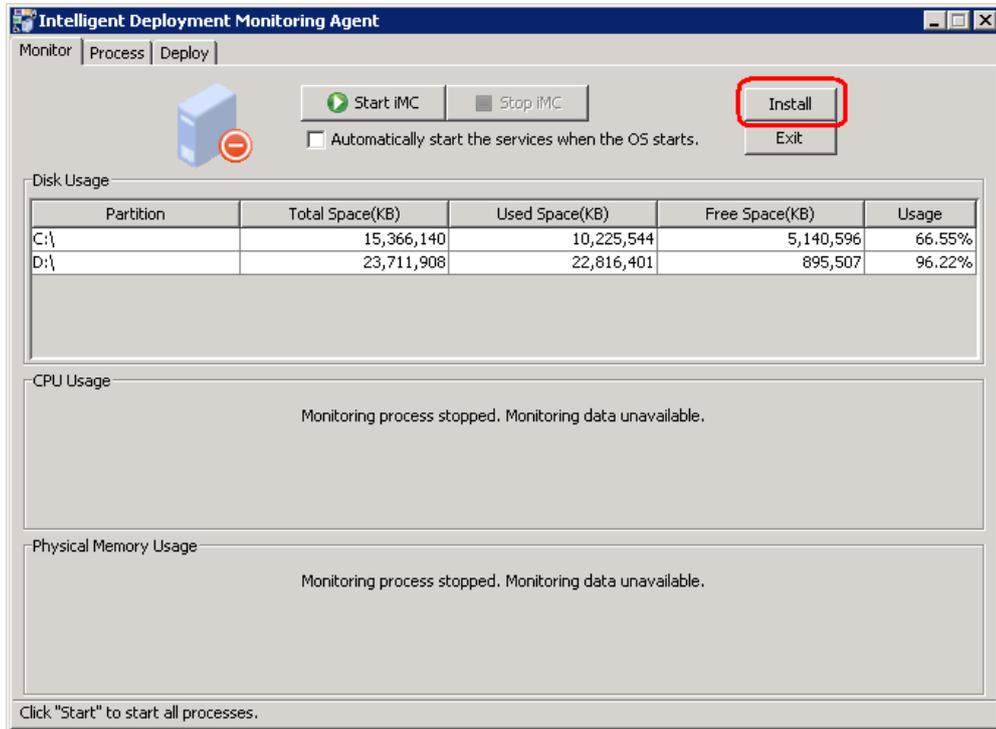
iMCフェイルオーバークラスタの場合、アップグレード手順を実行する必要があるのはアクティブノードのみです。バックアップノードは自動的にアクティブノードと同期します。

## iMCのパッチ適用

分散配置では、マスターサーバーを使用してパッチのインストールを開始します。

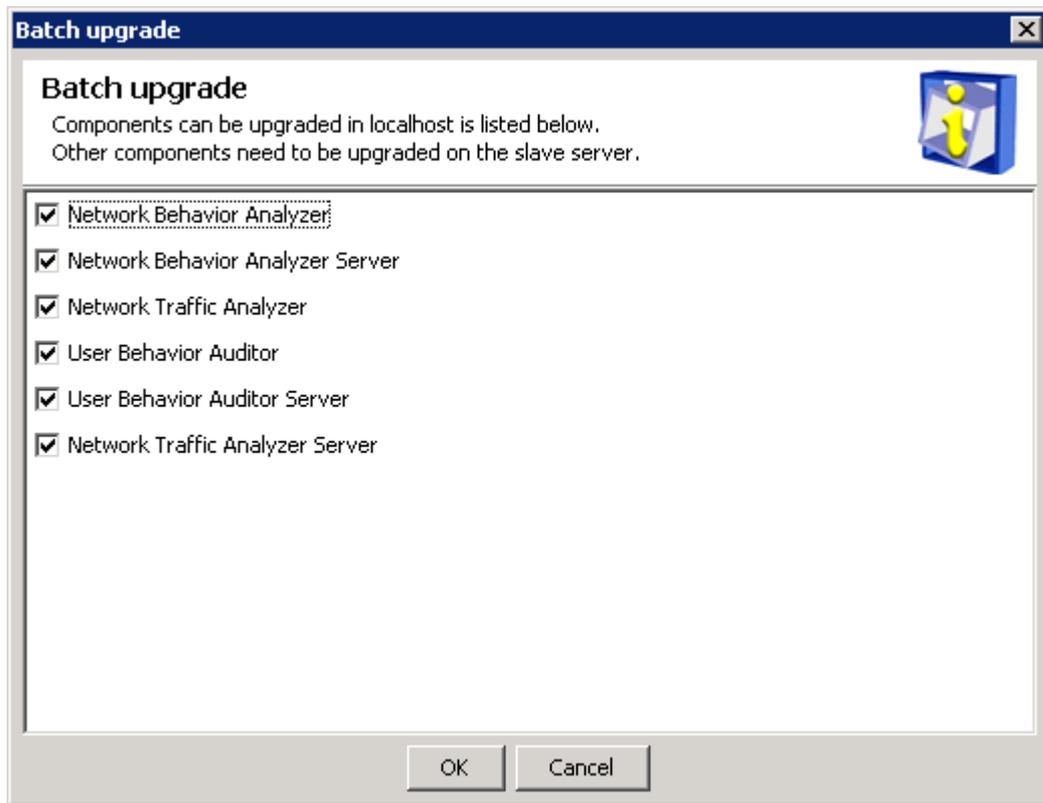
1. Intelligent Deployment Monitoring Agentで、MonitorタブのStop iMCボタンをクリックして、すべてのiMCプロセスを停止します。
2. Intelligent Deployment Monitoring Agentで、MonitorタブのInstallボタンをクリックして、新しいコンポーネントをインストールするためのページを表示します。

図3 Intelligent Deployment Monitoring Agent



3. Browseをクリックして、iMCアップグレードファイルが保存されているディレクトリからComponentsのサブディレクトリを選択し、OKボタンをクリックして新しいNTAコンポーネントをインストールします。
4. NTAコンポーネントのインストール後、Intelligent Deployment Monitoring Agentを起動します。アップグレードが必要なコンポーネントが自動的に検出され、Batch Upgradeウィンドウが表示されます。このコンポーネントのアップグレードを開始するには、OKボタンをクリックします。

図4 パッチアップグレード



5. 一括アップグレードが成功すると、次のダイアログボックスが表示されます。

図5 バッチアップグレードの成功



6. iMCが分散配置を使用する場合は、マスターサーバーのアップグレード後にすべてのスレーブサーバーにパッチを適用する必要があります。パッチの適用手順はマスターサーバーと同じです。
7. アップグレード後、Intelligent Deployment Monitoring AgentのStart iMCボタンをクリックして、すべてのiMCプロセスを開始します。

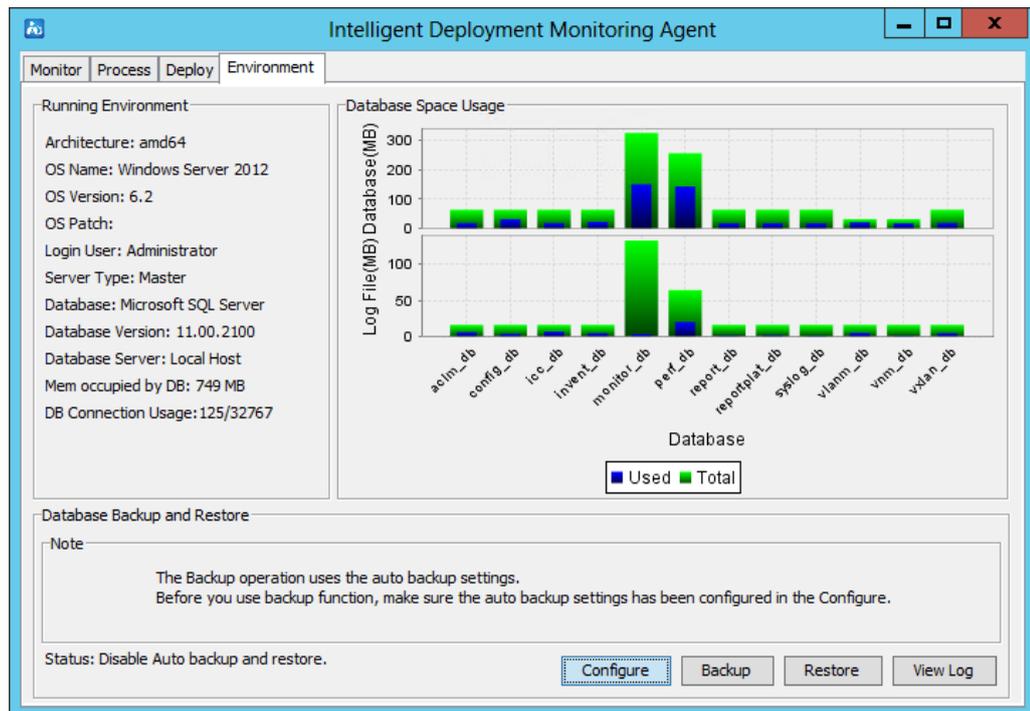
## アップグレード障害後のiMCの復元

分散配置の場合は、マスターサーバーとそのすべての下位サーバーで復元手順を実行します。

フェールオーバーiMCクラスタの場合は、アクティブノードで復元手順を実行します。

1. 展開監視エージェントのEnvironmentタブで、Restoreをクリックし、すべてのデータベースバックアップファイルを選択してiMCを復元します。

図6 iMCの復元



2. デプロイメント監視エージェントおよびH3C iMCサーバーを含むすべてのiMCプロセスを停止します。
3. iMCインストールディレクトリ内の内容を削除します。
4. バックアップiMCディレクトリを以前のiMCインストールディレクトリにコピーします。
5. 配置でリモートデータベースを使用する場合はiMCサーバーでDBManユーティリティを使用してデータベースをリストアします。分散配置では、マスターサーバーでこの手順を実行します。

## 情報問い合わせ先情報

ご不明な点がございましたら、メール:service@h3c.comまでご連絡ください。